

薬局経営とICT活用



(公社)日本医業経営コンサルタント協会
東京都支部調剤薬局研究会
認定登録医業経営コンサルタント

鈴木聡

(Satoru Suzuki, 薬剤師.Ph.D) suzsatorujahmc@yahoo.co.jp

くすりの入手方法

あれ？
おかしいな



ドラッグストア

セルフメディケーション



+ 通販

自費

一般医薬品(OTC)

パッケージ

自分で選ぶ/薬剤師・登録販売者が助言

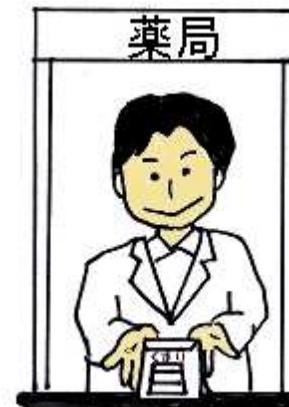


患者さん

処方箋

医師
診断
処方作成

医薬分業



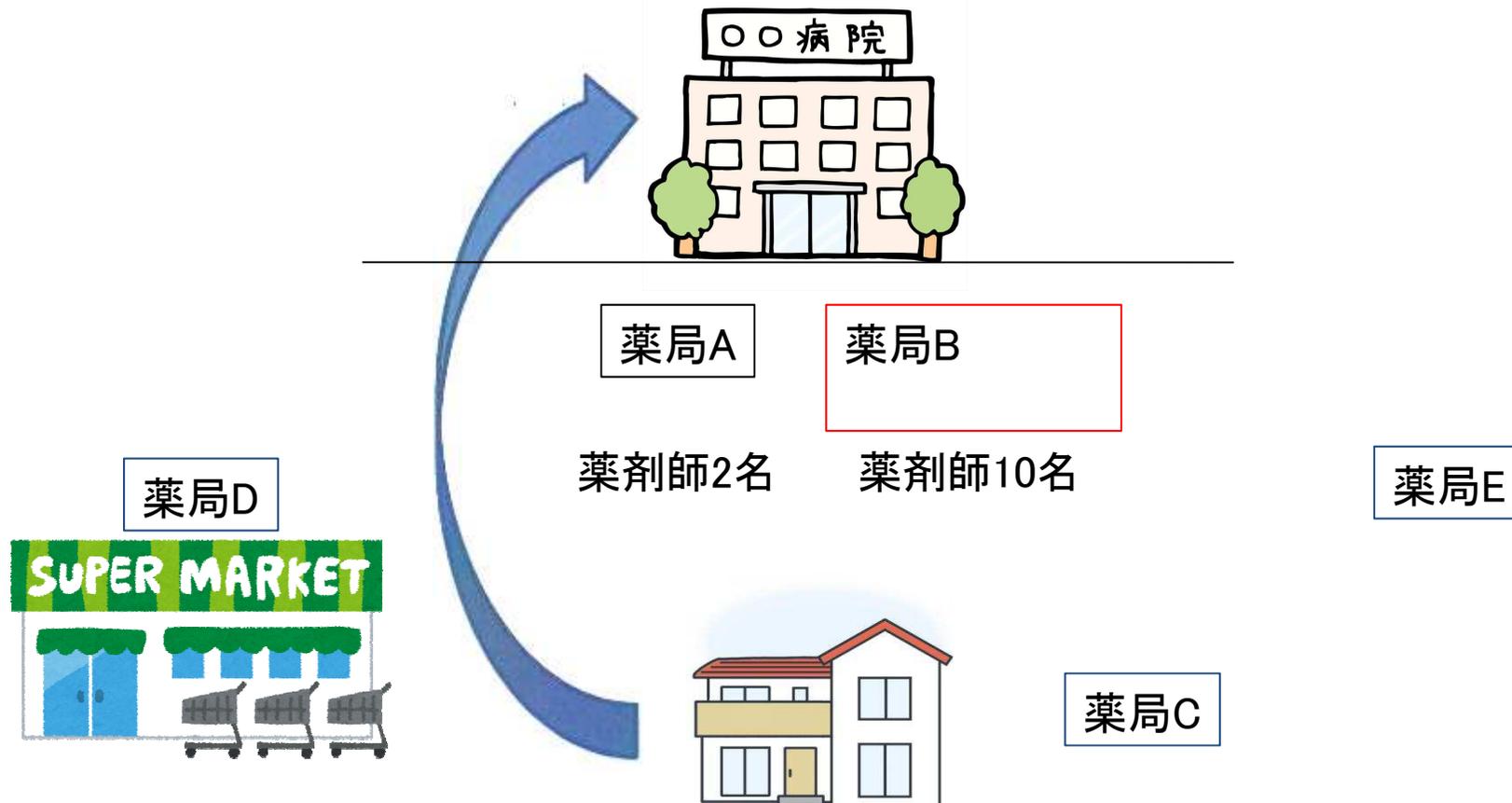
医療保険

医療用医薬品

薬剤師
服薬指導

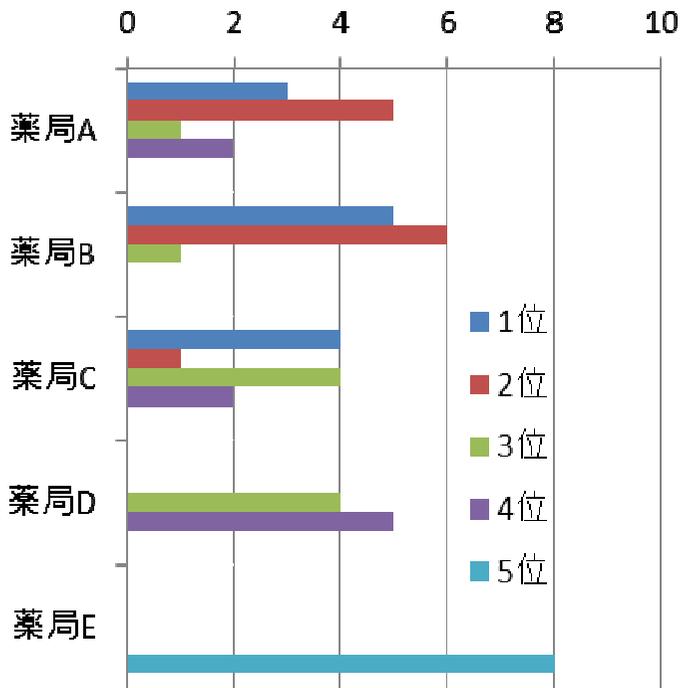
アンケート調査

あなたは病院にかかり、処方箋を受け取りました。次に薬局に行きます。
Q1: 以下A~Eの薬局のうち、どこをどの順で選びますか?
Q2: 薬局Eを選ぶとしたらどのような条件が必要だと思いますか?



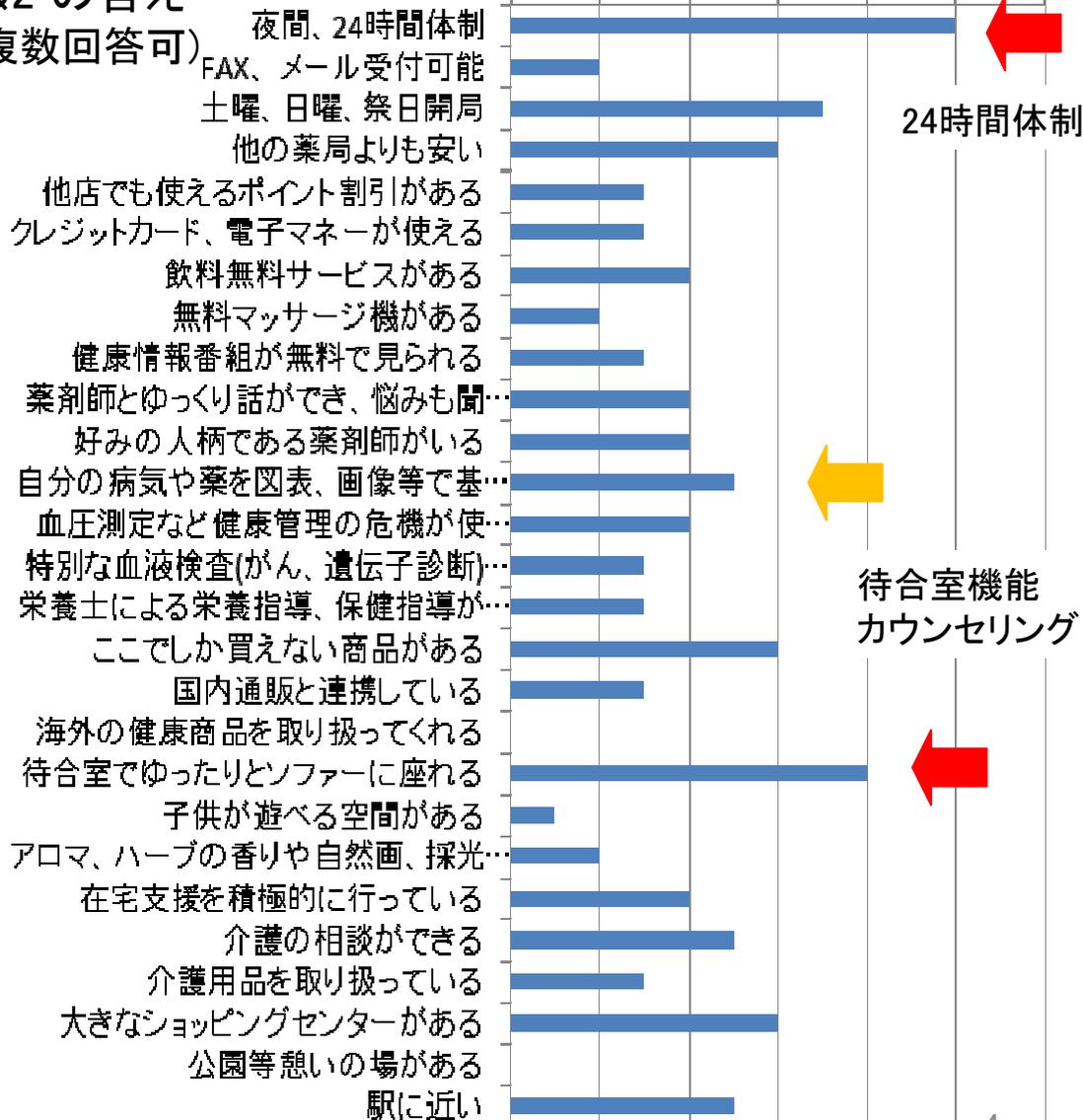
薬局Eをかかりつけ薬局と変身させるには？

Q1の答え



Q2の答え

(複数回答可)



実施:

2015年8月埼玉県 回答12名/15名

講習会参加者15名 30代 男2 女1

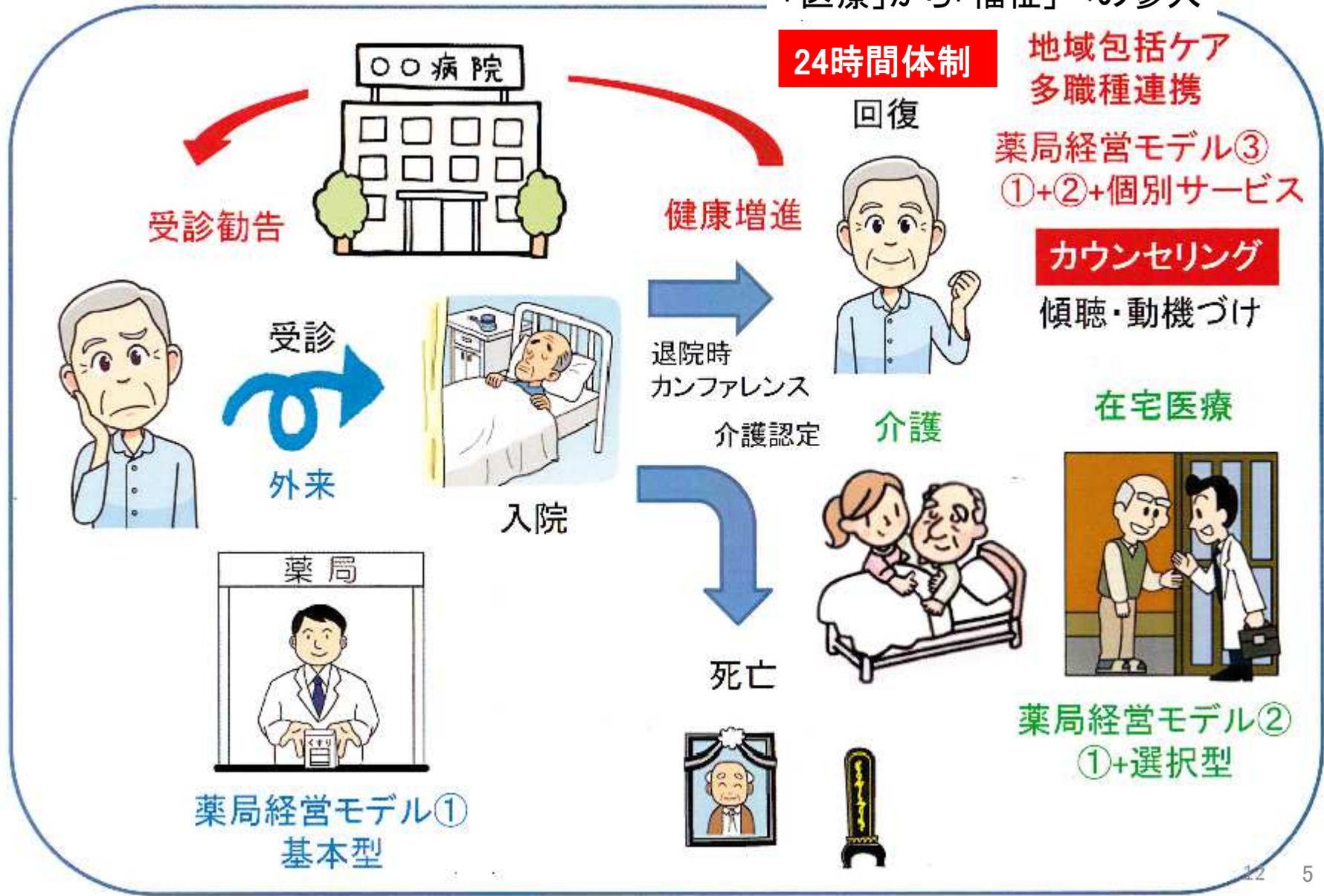
(介護職、一般) 40代 女2

50代 男2 女2

60代 男1 女2

かかりつけ薬局・情報支援薬局

「医療」から「福祉」への参入



かかりつけ薬局と健康情報拠点薬局の関係(イメージ)

健康情報拠点薬局＝かかりつけ薬局としての機能＋優れた健康サポート機能

健康サポート機能

健康情報
拠点薬局

☆ 国民の**病気の予防**や**健康づくり**に貢献

- ・OTC医薬品、衛生材料の提供
- ・健康相談応需、受診勧奨 等

高度薬学管理機能

☆ **高度な薬学的管理ニーズ**への対応

- ・抗がん剤、免疫抑制剤などの選択・投与量の調整支援 等

かかりつけ薬局

患者情報の一元管理

☆ 副作用や効果の確認による**安全性・有効性の確保**

☆ 重複投薬、飲み合わせ、残薬の確認

- ・患者からの相談応需
- ・服用歴等(治療歴、生活習慣や背景情報等)の**患者情報を一元的に管理**

24時間対応・在宅対応

☆ **休日・夜間、在宅医療ニーズ**の増加への対応

- ・**24時間**の対応
- ・**在宅患者**への薬学的管理・服薬指導

※ 地域の薬局で連携して対応することも可

医療機関との連携

疑義照会

処方提案

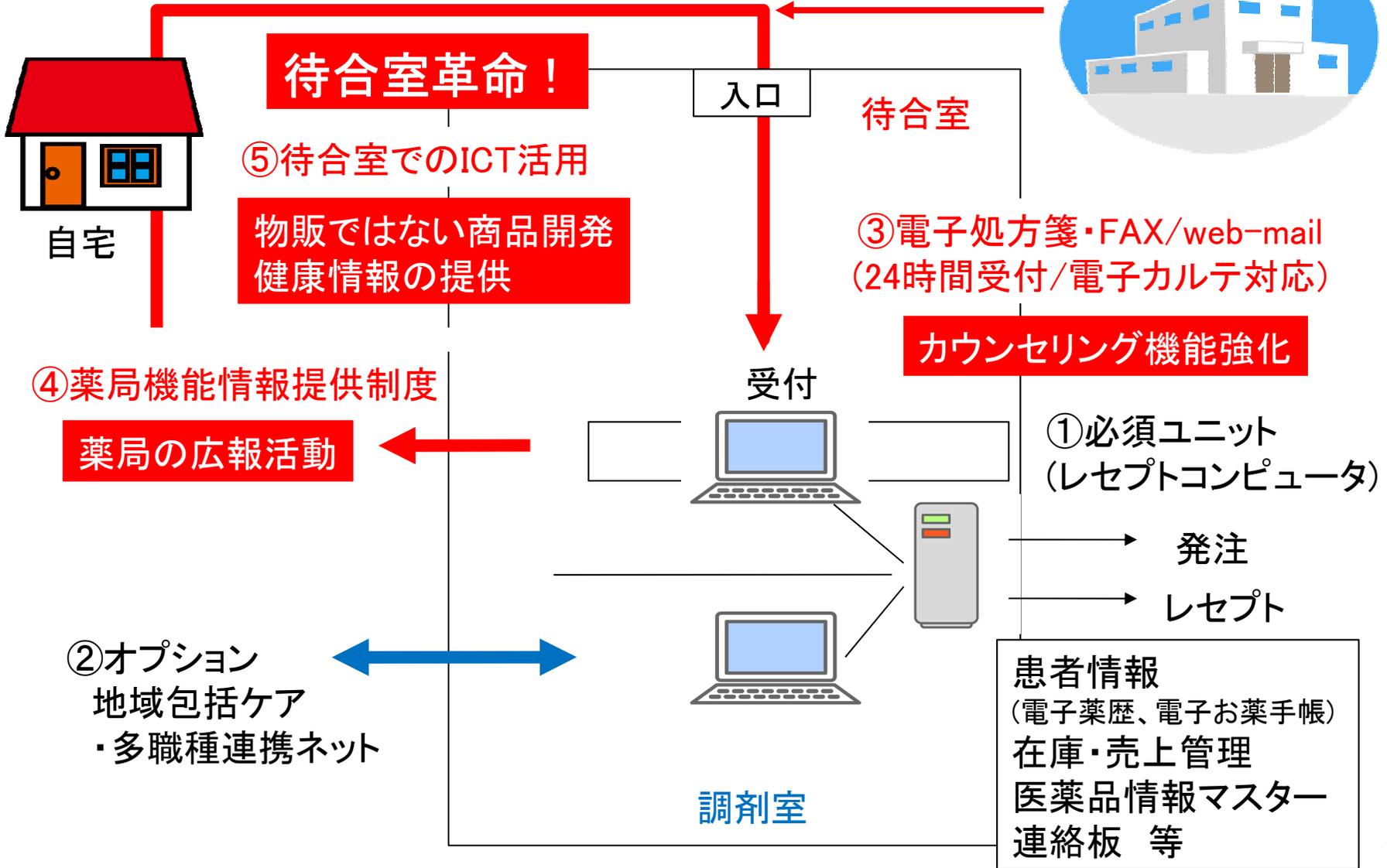
副作用・服薬状況
のフィードバック

受診勧奨

その他関係機関

かかりつけ薬局とICT

24時間体制を有効活用!



海外の事例

調剤室の業務を簡易化し、待合室でのカウンセリングに重きを置く傾向



Sartoretto Verna 社(イタリア)

情報支援薬局になるために

待合室でのICT活用(事例)

学会ブース、展示会などから見た最新動向

- ①インターネット番組、動画配信
◆疾患啓発、セルフチェック、広告 など
- ②モバイル、タブレット端末
◆服薬指導、栄養指導等
◆電子お薬手帳 など
- ③健康管理機器
◆血圧、血糖値測定、BMI測定、骨密度・・・
◆ゲートキーパー機能（うつ、認知症）など

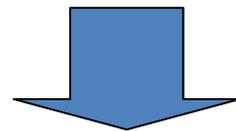


最近の薬局学会、ファーマシーフェア、JAPANドラッグストアショー等を参考とした

当方での調査事項

薬局・ドラッグストアに「患者」以外の集客を可能とするICT活用法とは？

- ①モバイルヘルス・ウェアラブル機器(生体情報収集)
- ②介護ロボット、認知症向け会話ロボット
- ③医療ビッグデータの活用



ビジネスモデル開発
フィジビリティ調査

薬局が「福祉」に貢献できるコンテンツとは？
マネタイジングの可能性は？